



ともだちみんな きらきらえがおで わになり  
なかよし ときわっこ 園長だより No3 R8.6.5

台風の被害もなく、ほっとしました。暑い日が続いていますが、子どもたちは、興味のあること、「おもしろそう」と思うことを見つけて遊んでいます。砂場では、たくさん水を流して遊んだ次の日、クリーム状の土ができることに気付き、団子にしたり、チョコレートに見立てたりして遊んでいます。その様子を学年の違う幼児が見て、まねをしています。

4月から続けているしっぽとりは「取られた」と泣いたり、「ダメ」と怒ったりしてトラブルになります。相手に伝わるような表現の仕方を学級で話し合ったり、ルールについてみんなで共通理解したりして遊びがもっとおもしろくなるにはどうすればよいかを経験しています。

今回は、本年度の取組①についてお伝えします。

### 令和8年度 常盤幼稚園 経営計画

#### 1 健やかな体と豊かな心を育む教育の充実

- ① 「みんなで」「みんなが」育ち合うときわっこの育成を目指し、異年齢児の関わり合いが深まるような環境構成と援助を考え、実践する。
- ② 心身共に元気で生活するために家庭と連携して、基本的な生活習慣の確立と定着に努める。
- ③ あいさつ運動や指導を通して、あいさつができるときわっこを育てる。

#### 2 地域から信頼される幼稚園づくり

- ④ 幼稚園教育を周知するために未就園児親子を対象とした「ふれあい広場」を月1回実施し、その在り方を工夫する。
- ⑤ 幼稚園教育の理解を得るために保護者や地域の方に分かりやすく情報提供をする。

#### 3 教職員の資質向上

- ⑥ 教職員の指導力向上のために園内研修の充実を図る。
- ⑦ 小学校と教育の連続性を意識するために合同研修会を実施する。
- ⑧ 仲間を信頼し助け合うことができる職員集団となるよう同僚性向上を目指す取組を行う。



今年度の取組の重点は、異年齢児の関わり合いが深まるような工夫です。3歳児が持ち物を片付ける、靴を履く、帽子をかぶる等の際、5歳児が手伝いに行ったり、お茶タイムの時、手をつないで3歳児の保育室へ送って行ったりしています。今では、3歳児も、自分のことを自分でしたり、音楽を聞くと自分から保育室前に帰ってお茶を飲んだりしています。相手が喜ぶ関わり方を考えて、対応できるようにしてほしいと思います。